

赤字:日本平動物園へのアクセス向上のため新規に追加した記載事項
(課題・目標・指標・事業に関わるもの)

まちづくり交付金 モニタリングシート

有度山総合公園周辺地区

平成21年12月

静岡県静岡市

様式3 評価結果のまとめ

都道府県名	静岡県		市町村名	静岡市		地区名	有度山総合公園周辺地区		面積	312ha			
交付期間	平成19年度～平成23年度		事後評価実施予定時期	平成23年度	モニタリング実施時期	平成21年度		交付対象事業費	4,373百万円	国費率	0.253		
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施済み、実施中、実施予定の事業	基幹事業	事業名					事業進捗の状況(順調か、遅れているか)					
		提案事業	学習教養施設整備事業、動物体験ふれあい施設整備事業、基盤整備事業、散策路広場整備事業					順調					
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名					削除/追加の理由					
		提案事業	猛獣館整備事業、管理事務所関連施設整備事業、新爬虫類館整備事業、施設解体撤去、アクセス道路整備事業、埋蔵文化財発掘調査、アクセス道路調査、まちづくり活動推進調査					順調					
	新たに追加した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(緑地・広場整備)				学習・文化・レクリエーション活動及び環境教育の拠点機能の一層の充実を図るため、広場、散策路、展望広場の整備を追加する	拠点機能の充実により、余暇時間に対する満足度の向上が見込まれる					
		基幹事業	公園(進入路整備)【新規追加予定】				現進入路への利用交通の分散を図り、渋滞緩和を図るため新規進入路の整備を追加する	渋滞解消や地域住民の交通の円滑化を目的とした、日本平動物園へのアクセスに対する満足度が高まるが見込まれる					
		基幹事業	公園(駐車場整備)【新規追加予定】				駐車場の可能容量不足による渋滞の解消を図るため、駐車場の新設を追加する	駐車場利用の円滑化により、日本平動物園へのアクセスに対する満足度が高まるが見込まれる					
		基幹事業	高質空間形成施設(進入路アンダーパス整備)【新規追加予定】				動物園への入り口として来園者の期待感を高め、非日常的な空間を演出する目的からアンダーパス整備を追加する	渋滞解消や地域住民の迷惑解消を目的とした交通円滑化により、日本平動物園へのアクセスに対する満足度が高まるが見込まれる					
	交付期間の変更	当初	平成19年度～23年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
		変更	平成 年度 ～ 年度										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		モニタリング		目標	総合所見		今後の対応方針	
				基準年度	目標年度		計測年度	達成見込み					
	指標1	余暇時間に対する満足度	%	20.6	H18	32.3	H23	26.9	H21	あり なし	● ●	実施中の事業が多いが、その進捗で地域の満足度が高まっている。整備完了後は、動物園入園者を中心に満足度の向上も見込まれる。	事業中の施設整備の促進により、魅力の充実を図る。
	指標2	日本平動物園の来客者数	人/年	473,019	H17	520,000	H23	510,331	H20	あり なし	● ●	入園者数が回復している動物園が多いなか、日本平動物園でも入園者数が増加傾向にある。整備への入園者の期待感が高く、今後の増加が見込まれている。	ガイド・情報発信、展示・イベント等の充実により、来客者数の増加を図る。
	指標3	日本平動物園の来客者満足度	%	28.7	H18	36.3	H23	33.3	H21	あり なし	● ●	整備への期待感等から地域の満足度が高まっている。施設撤去等により入園者の満足度が低下しているが、事業の完成に伴い、不満が解消され満足度向上が見込まれる。	事業の促進とともに、多様な利用者に配慮し、来客者が心地よく過ごせるよう維持管理を行う。
	指標4	老朽化した施設の耐震化率	%	50.0	H18	90.0	H23	80.0	H21	あり なし	● ●	耐震建替え整備が進んだため、耐震化率は向上した。	耐震性能が劣ると評価された施設整備を促進する。
指標5【新規追加予定】	日本平動物園へのアクセスに対する満足度	%	35.5	H18	40.3	H23	28.7	H21	あり なし	● ●	動物園入園者数が増加傾向にある反面、アクセス道路の混雑・渋滞対策が解消されていないため、動物園入園者を中心に満足度が低下しているが、進入路と駐車場整備を進めることにより、満足度向上が見込まれる。	早期に事業着手し、進入路と駐車場の整備を一體的に進める。	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		モニタリング		目標	総合所見		今後の対応方針	
				基準年度	目標年度		計測年度	達成見込み					
4)定性的な効果発現状況	学習・文化・レクリエーション活動の拠点としての機能が充実し、利用者にとっての施設の使い勝手が向上したため、動物園に出かける機会を増やそうという市民の割合が高い水準になっている。市民が憩う、親しみやすい空間として施設が充実し、市民と協働でまちづくりを進めるエリアとしての認知度も高まった。												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況			今後の対応方針等						
	モニタリング	市統計書等およびアンケートによるモニタリング			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			● ● 定期的なモニタリングにより、まちづくりの課題や今後の事業運営へ反映していく。					
	住民参加プロセス	①動物園周辺地区の渋滞緩和対策検討会②動物園進入路の検討会③有度山総合公園第2期説明会			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した モニタリング時点では実施していない			● ● 住民意向を適切に反映し、満足度の高い事業を推進するため、活動を継続していく。					
持続的なまちづくり体制の構築	【今後の予定】動物園運営会議(年2回開催)			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した モニタリング時点では実施していない			● ● 委員会の開催を通じて、市民と市の協働によって動物園の魅力を高める方策の検討や活動を展開していく						
6)モニタリングの所見	総合所見	順調	●	実施中の事業が多いが、おおむね計画どおり進められており、新規追加事業の早期着手が望まれる。			今後の事業の改善点			自然環境と周辺環境への配慮/リピーターや新規来客者の獲得方策と一体となった施設整備等の推進/多様な利用者を想定した人にやさしい環境づくりの推進/市民と協働による利用マナーの向上と維持管理			
		要改善											

まちづくり交付金 モニタリングシート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 効果発現要因の整理

(4) モニタリングの所見

- 添付様式5-① まちの課題の変化
- 添付様式5-② 総合所見・今後の事業の改善点

(6) モニタリング原案の公表

- 添付様式6 モニタリング原案の公表

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式7 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標	● (予定)		—	【新規追加予定】渋滞解消や地域住民の交通の円滑化を目的とした進入路、駐車場整備を進める。	動物園への来園車両や日本平山頂への観光車両による休日の渋滞に対して、動物園へのシャトルバスを活用した対策を講じてきたが、抜本的解決に至っていないため、新進入路と駐車場の整備を行う
B. 目標を定量化する指標	● (予定)		—	【新規追加予定】日本平動物園へのアクセスに対する満足度	新たな進入路及び駐車場整備に関する事業の追加に伴う効果を測定するため
C. 目標値	● (予定)		—	【新規追加予定】日本平動物園へのアクセスに対する満足度	新規追加事業の効果発現の程度を示す目標値を設定するため
D. その他()		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業											
事業	事業箇所名	当初計画		モニタリング時		当初計画からの 変更の概要※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、 数値目標等への影響	モニタリング時の状況			今後の事業見込み
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			未着手	事業中	完成	
公園	学習教養施設整備事業	690	学習教養施設(猛獣館)の建設	780	学習教養施設(猛獣館)の建設	事業費の精査	影響なし			●	H21年度完成予定(未供用)
公園	動物体験ふれあい施設整備事業	245	動物体験ふれあい施設の建設	300	動物体験ふれあい施設の建設	事業費の精査	影響なし			●	H23年度完成予定
公園	基盤整備事業	274	下水道管布設、トイレ、休憩所等の建設、外周フェンス、園路舗装整備など	222	下水道管布設、トイレ、休憩所等の建設、外周フェンス、園路舗装整備など	事業費の精査	影響なし			●	H23年度完成予定
公園	進入路整備事業【新規追加予定】	—	—	※	動物園園路整備	現進入路への利用交通の分散を図り、渋滞緩和を図るため新規進入路の整備を追加する	駐車場及び新たな進入路の整備に伴い、公園園路の整備を追加する			●	H23年度完成予定
公園	駐車場整備事業【新規追加予定】	—	—	※	動物園駐車場整備	駐車場の可能容量不足による渋滞の解消を図るため、駐車場の新設を追加する	駐車場の可能容量不足による渋滞の解消を図るため、駐車場の新設を追加する			●	H23年度完成予定
地域生活基盤	散策路広場整備事業	234	動物園隣接地を散策広場として拡張整備	260	動物園隣接地を散策広場として拡張整備	事業費の精査	影響なし			●	H21年度完成(未供用)
地域生活基盤	緑地広場整備事業	—	—	430	広場、散策路、展望広場の整備	学習・文化・レクリエーション活動及び環境教育の拠点機能の一層の充実を図るため、広場、散策路、展望広場の整備を追加する	拠点機能の充実により、余暇時間に対する満足度の向上が見込まれる			●	H23年度完成予定
高質空間形成施設	進入路アンダーパス整備事業【新規追加予定】	—	—	※	動物園進入路導入部分整備	現進入路への利用交通の分散を図り、渋滞緩和を図るため新規進入路の整備を追加する(アンダーパス部分)	渋滞解消や地域住民の迷惑解消を目的とした交通円滑化により、日本平動物園へのアクセスに対する満足度が高まることが見込まれる			●	H23年度完成予定

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業											
事業	細項目	当初計画		モニタリング時		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、 数値目標等への影響	モニタリング時の状況			今後の事業見込み
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			未着手	事業中	完成	
地域創造 支援事業	猛獣館整備事業	1,170	猛獣館の建設	1,137	猛獣館の建設	事業費の精査	影響なし		●		H21年度完成予定(未供用)
	管理事務所関連施設整備事業	525	動物園管理事務所、 動物の一時保管、検 疫施設、営繕作業所	762	動物園管理事務所、 動物の一時保管、検 疫施設、営繕作業所	事業費の精査	影響なし		●		H23年度完成予定
	新爬虫類館整備事業	288	新爬虫類館の建設	328	新爬虫類館の建設	事業費の精査	影響なし		●		H23年度完成予定
	施設解体撤去	110	施設建設に係る既設 獣舎の解体及び遊 具等の撤去	48	施設建設に係る既設 獣舎の解体及び遊 具等の撤去	事業費の精査	影響なし		●		H23年度完成予定 (遊園地・猛獣舎完了)
	アクセス道路整備事業	10	有度山総合公園整 備の計画に伴うア クセス道路整備事業	43.3	有度山総合公園整 備の計画に伴うア クセス道路整備事業	事業費の精査	影響なし		●		H23年度完成予定
事業活用調査	埋蔵文化財発掘調査	30	管理事務所等の建 設に伴う管理エリア の埋蔵文化財発掘	44	管理事務所等の建 設に伴う管理エリア の埋蔵文化財発掘	事業費の精査	影響なし		●		H23年度完成予定
	アクセス道路調査	10	有度山総合公園整 備の計画に伴うア クセス道路測量調査	6.7	有度山総合公園整 備の計画に伴うア クセス道路測量調査	事業費の精査	影響なし			●	H19年度完成
まちづくり 活動推進事業	まちづくり活動推進調査	12	まちづくり活動推進 調査	12	まちづくり活動推進 調査			●			H23年度完成予定

(参考) 関連事業								
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	モニタ リング時	当初計画	モニタリング時		
	有度山総合公園整備事業	11.8ha	2,805	2,805	H12～15	H12～15	H15年度完成済み	
	有度山周辺案内板設置事業	10基	5	5	H19～23	H19～23	H23年度完成予定	
	フライングゲージ整備事業	建築面積4,000㎡	380	380	H20～22	H20～22	H20設計完了、H22建設予定	

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と モニタリング値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		モニタリング (エ)		現段階での 目標達成 見込み		総合所見	今後の方針	
			基準 年度	基準 年度	基準 年度	基準 年度	目標 年度	実施 年度	あり	なし					
指標1	余暇時間に対する満足度	%	来客者アンケート調査(動物園 入園者に対する聞き取り及び町内 会への郵送配布)	—	—	20.6	H18	32.3	H23	26.9	H21	●	実施中の事業が多いが、その進捗で地元の満足度が高まっている。整備完了後は、動物園入園者を中心に満足度の向上も見込まれる。	事業中の施設整備の促進により、魅力の充実に努める。	
指標2	日本平動物園の来客者数	人/年	日本平動物園年度別入園者状況の実績値(静岡市統計書)	470,707	H10 442,026	H16	473,019	H17	520,000	H23	510,331	H20	●	入園者数が回復している動物園が多いなか、日本平動物園でも入園者数が増加傾向にある。整備への入園者の期待感が高く、今後の増加が見込まれている。	ガイド・情報発信、展示・イベント等の充実により、来客者数の増加を図る。
指標3	日本平動物園の来客者満足度	%	来客者アンケート調査(動物園 入園者に対する聞き取り及び町内 会への郵送配布)	—	—	28.7	H18	36.3	H23	33.3	H21	●	整備への期待感等から地元の満足度が高まっている。施設撤去等により入園者の満足度が低下しているが、事業の完成に伴い、不満が解消され満足度向上が見込まれる。	事業の促進とともに、多様な利用者に対応し、来客者が心地よく過ごせるよう維持管理を行う。	
指標4	老朽化した施設の耐震化率	%	対象施設10箇所のうち、耐震化されている施設の割合	—	—	50.0	H18	90.0	H23	80.0	H21	●	耐震建替え整備が進んだため、耐震化率は向上した。	耐震性能が劣ると評価された施設整備を促進する。	
指標5 【新規追加予定】	日本平動物園へのアクセスに対する満足度	%	来客者アンケート調査(動物園 入園者に対する聞き取り及び町内 会への郵送配布)	—	—	35.5	H18	40.3	H23	28.7	H21	●	動物園入園者数が増加傾向にある反面、アクセス道路の混雑・渋滞対策が解消されていないため、動物園入園者を中心に満足度が低下しているが、進入路と駐車場整備を進めることにより、満足度向上が見込まれる。	早期に事業着手し、進入路と駐車場の整備を一体的に進める。	

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年前程度前)の値のことをいう。

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法と モニタリング値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		モニタリング (エ)		本指標を取り 上げる理由	総合所見	今後の方針
			基準 年度	基準 年度	基準 年度	基準 年度	目標 年度	実施 年度					
その他の 数値指標1													
その他の 数値指標2													
その他の 数値指標3													

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年前程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

学習・文化・レクリエーション活動の拠点としての機能が充実し、利用者にとっての施設の使い勝手が向上したため、動物園に出かける機会を増やそうという市民の割合が高い水準になっている。市民が憩う、親しみやすい空間として施設が充実し、市民と協働でまちづくりを進めるエリアとしての認知度も高まった。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の方針等
市統計書等およびアンケートによるモニタリングを実施。	予定どおり実施した	● 8月～10月にかけて、まちづくり交付金推進本部及び有度山総合公園周辺地区部会を各2回実施し、有度山総合公園周辺地区におけるまちづくり交付金事業の効果分析及び今後の方針等の検討を行った。	定期的なモニタリングにより、まちづくりの課題や今後の事業運営へ反映していく。
	予定はなかったが実施した		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の方針等
①動物園周辺地区の渋滞緩和対策検討会 ②動物園進入路の検討会	予定どおり実施した	● 【実施頻度】①3回、②3回 【実施時期】①H19～20、②H21 【実施結果】動物園へ来る車だけでなく、地域住民、他への周遊観光の来訪者の車も含めた渋滞緩和対策のために、新たな動物園進入路と駐車場の双方の整備が必要であるとの結論となった。	住民意向を適切に反映し、満足度の高い事業を推進するため、活動を継続していく。
	予定はなかったが実施した		
③有度山総合公園第2期説明会	モニタリング時点では実施していない		
	予定どおり実施した	● 【実施頻度】年3回 【実施時期】H20、H21 【実施結果】まちづくり交付金事業の主旨および有度山2期工事の概要について説明会を開催した。また、有度山総合公園(2期)へのアクセス道路整備の概要を説明し、用地確定の関係者には協力をお願いした。	住民意向を適切に反映し、満足度の高い事業を推進するため、活動を継続していく。
	予定はなかったが実施した		
モニタリング時点では実施していない			

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
(実施予定)	予定どおり実施した	● 年2回の会議開催	動物園運営会議	委員会の開催を通じて、市民と市の協働によって動物園の魅力を高める方策の検討や活動を展開していく
	予定はなかったが実施した			
	モニタリング時点では実施していない			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
静岡市まちづくり交付金推進本部 (同設置要綱にもとづく)	経営企画局経営企画部、財政局財政部、生活文化局(市民生活部・文化スポーツ部)、環境局環境創造部、保健福祉子ども局(福祉部・子ども青少年部)、経済局商工部、都市局(都市計画部・建築部)、建設局(土木部・道路部)、消防防災局(消防部・防災部)、上下水道局下水道部、教育委員会教育部 以上、部長級16名	第1回会議 平成21年9月2日 14:00~15:30 第2回会議 平成21年10月8日 15:00~17:00	事務局:都市局都市計画部都市計画課

添付様式4-② 効果発現要因の整理

指標の種別		指標1		指標2		指標3		指標4	
指標名		余暇時間に対する満足度		日本平動物園の来客者数		日本平動物園の来客者満足度		老朽化した施設の耐震化率	
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	公園 学習教養施設整備事業	△	実施中の事業が多いが、計画通り進められており、その進捗を見ている地域の満足度が高まっているものと考えられる。今後、事業の完成に伴って目に見える効果が表れてくるに従って、動物園入園者を中心とした地区外からの来訪者の満足度の向上も見込まれる。	△	全般的に動物園入園者数が回復傾向にあり、日本平動物園でも入園者数が増加している。実施中の事業が多く、現段階で事業による効果は認められないが、入園者の期待感(約8割が整備後の来園回数を増やそうと考えている)から、今後も入園者数の増加が見込まれる。	△	整備への期待感等から、地元の満足度が大幅に上昇しているものと考えられる。その反面、施設撤去等に伴い、動物園来客者の満足度が低下しているが、今後、事業が順次完成していくことから、こうした不満が解消され、満足度の向上につながるものと見込まれる。	—	耐震建替え整備が進んだため、耐震化率は向上した。
	公園 動物体験ふれあい施設整備事業	—							
	公園 基盤整備事業	—							
	公園 進入路整備事業【新規追加予定】	—							
	公園 駐車場整備事業【新規追加予定】	—							
	地域生活基盤 散策路広場整備事業	△							
提案事業	地域生活基盤 緑地・広場整備	—							
	高質空間形成施設 進入路アンダーパス整備事業【新規追加予定】	—							
	地域創造支援事業 猛獣館整備事業	△							
	地域創造支援事業 管理事務所関連施設整備事業	—							
	地域創造支援事業 新爬虫類館整備事業	—							
	地域創造支援事業 施設解体撤去	—							
	地域創造支援事業 アクセス道路整備事業	—							
	事業活用調査 埋蔵文化財発掘調査	—							
事業活用調査 アクセス道路調査	△								
関連事業	まちづくり活動推進事業 まちづくり活動推進調査	—							
	有度山総合公園整備事業	◎							
	有度山周辺案内板設置事業 フライングゲージ整備事業	— —							

※指標改善への貢献度

- ◎: 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献している。
 - : 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献している。
 - △: 完成直後又は事業開始直後のため、効果の発揮に至っていない。
 - ×: 事業が完成したが、期待通りの効果を発揮していない。
 - : 評価できない。
- 〔 未着手又は事業中のため評価できない、事業と指標とに関係がないので評価できない 〕

今後の方針等	事業中の施設整備を促進し、余暇活動の場としての魅力の充実を図る	動物園のガイド・情報発信等の充実とともに、多くの来訪者がリピーターとして何度来てでも楽しめるような展示・イベント等の充実により、来客者数の増加を図る	事業の促進とともに、施設・広場等の整備にあたり、子どもから高齢者まで多様な利用者にも配慮するほか、乳幼児のための施設の充実等とともに、来客者が心地よく過ごせるよう維持管理を行い、来客者の満足度を高める	耐震性能が劣ると評価されている施設について整備を進め、耐震化率を高める
--------	---------------------------------	--	--	-------------------------------------

指標の種別		指標5【新規追加予定】					
指標名		日本平動物園へのアクセスに対する満足度					
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	公園 学習教養施設整備事業	—	動物園入園者数が増加傾向にある反面、アクセス道路の混雑・渋滞対策が解消されていないため、動物園入園者を中心に満足度が低下しているが、進入路と駐車場整備を進めることにより、満足度向上が見込まれる。				
	公園 動物体験ふれあい施設整備事業	—					
	公園 基盤整備事業	—					
	公園 進入路整備事業【新規追加予定】	—					
	公園 駐車場整備事業【新規追加予定】	—					
	地域生活基盤 散策路広場整備事業	—					
	地域生活基盤 緑地・広場整備	—					
	高質空間形成施設 進入路アンダーパス整備事業【新規追加予定】	—					
提案事業	地域創造支援事業 猛獣館整備事業	—					
	地域創造支援事業 管理事務所関連施設整備事業	—					
	地域創造支援事業 新爬虫類館整備事業	—					
	地域創造支援事業 施設解体撤去	—					
	地域創造支援事業 アクセス道路整備事業	—					
	事業活用調査 埋蔵文化財発掘調査	—					
	事業活用調査 アクセス道路調査	—					
	まちづくり活動推進事業 まちづくり活動推進調査	—					
関連事業	有度山総合公園整備事業	—					
	有度山周辺案内板設置事業	—					
	フライングゲージ整備事業	—					

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献している。
 - ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献している。
 - △：完成直後又は事業開始直後のため、効果の発揮に至っていない。
 - ×：事業が完成したが、期待通りの効果を発揮していない。
 - ：評価できない。
- 〔 未着手又は事業中のため評価できない、事業と指標とに関係がないので評価できない 〕

今後の方針等	動物園への進入路、駐車場整備、園路整備を一体的に進め、渋滞緩和を図るとともに、わかりやすい案内等の充実により、来訪者がスムーズにアクセスできる環境を整え、満足度を高める			
--------	--	--	--	--

(4) モニタリングの所見

添付様式5-① まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	モニタリングの時点で達成されたこと (課題の改善状況)	交付期間中に解決すべき 残された課題	交付期間中に発生した 新たな課題
自然を活かした施設及び広場の整備	●学習教養施設・猛獣館や散策路整備により、余暇活動や学習・文化・レクリエーション活動や環境教育活動の拠点が充実し、来客者数が増加傾向に転じている。	●事業中の施設等が多いため、整備効果の早期発現にむけて、事業実施を促進する必要がある。	●整備の進捗に伴い、自然環境や周辺環境への影響を懸念する声が聞かれるようになってきており、双方のバランスを考慮した計画の推進と施設の維持管理・運営を行うことが必要である。 ●来客者の増加に伴い、子どもから高齢者まで、多様な市民が楽しむための人にやさしい環境づくりを進める必要がある。 ●来客者の増加等の効果を活かして、リピーターを獲得するためのイベントの充実、新規来客者の獲得のための情報発信・ガイド・PRの推進が必要となっている ●公園利用や運転等のマナーの悪さを指摘する声も多く、来訪者の満足度向上のためには、利用マナーの徹底が必要となっている。
動物とのふれあい、生命の大切さを認識することのできる場の整備、自然を活かした園内の景観や休養施設や便益施設の設備	●園内の施設整備が段階的に進み、来客者数の増加や満足度の向上につながっている。		
東海地震を想定した日本平動物園の既存施設の整備	●施設解体撤去が進み、既存施設の耐震整備が進んでいる。		
新たな動物園の進入路及び動物園の来客者駐車場の整備 【新規追加予定】		●事業の進捗に伴い、来客者数が増加している一方で、動物園へのアクセスについての満足度が低下しており、進入路・駐車場・公園園路事業整備等の早期着手が課題として残されている。	

添付様式5-② 総合所見・今後の事業の改善点

総合所見		今後の事業の改善点	
		具体的項目	内容
順調	●	自然環境や周辺環境への配慮	施設等の整備が進むなかで、自然環境の保全の要望が高まっており、双方のバランスに配慮して整備を進める。また、道路の渋滞も満足度への影響が大きいことから、周辺地区への影響や安全性に配慮した整備を進める。
計画・事業の進め方の改善が必要		事業者の進め方の工夫 リピーターや新規来客者の獲得方策と一体となった施設整備等の推進	イベント等によるリピーターの獲得、情報発信・PR等による新規来客者の獲得等のソフト施策と一体となって、施設整備等を推進することにより、さらなる整備効果の発現を目指す。
実施中の事業が多いが、おおむね計画どおり進められており、新規追加事業の早期着手が望まれる。		多様な利用者を想定した人にやさしい環境づくりの推進	動物園等の利用者の増加をふまえて、子どもから高齢者まで、多様な利用者にとって心地よく、親しみやすい場所となるよう環境づくりを進めることで、幅広い利用者層の満足度の高いユニバーサルデザインを考慮した整備を進める。
		市民と協働による利用マナーの向上と維持管理	施設等の整備の効果を最大限に発現するため、市民と協働により来訪者のマナー向上や美化・植栽・自然環境保全等の活動を進める。
		都市再生整備計画の見直しの必要性	特になし

(5) モニタリング原案の公表

添付様式6 モニタリング原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	中間評価原案の要旨を市の公式HP上に掲載	平成21年10月9日～11月10日	平成21年10月9日～11月10日	郵送、ファクシミリ送信、電子メール及び 市役所都市計画課または各区役所窓口へ直接持参	都市局都市計画部 都市計画課
広報掲載・回覧・個別配布	中間評価原案の公表場所・公表方法を市広報に掲載	平成21年度9/15号、10/15号	平成21年10月9日～11月10日		
説明会・ワークショップ					
その他	中間評価原案を市役所都市計画課及び各区役所窓口で閲覧				

住民の意見	
-------	--

(6) 有識者からの意見聴取

添付様式7 有識者からの意見聴取

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署
静岡大学教授	平成21年9月16日	都市局都市計画部 都市計画課
有識者の意見	●有度山総合公園周辺地区における中間評価の状況について説明し、助言をいただいた 〔助言内容〕 ・アンケート調査に関して、回答者の属性別に、集計結果の比較分析を行うと効果的である。 (動物園入園者、池田桜ヶ丘町内会、有度山1期(テニスコート入場者))	